

現状 ● 県立学校において長時間勤務を行っている教職員の割合 ※最繁忙月(5月)
【月45時間超】 R1:41% → R7:21% 【月80時間超】 R1:13% → R7:6%

課題 ● 職場環境の改善による教職の魅力回復
● ICTや生成AIの活用等の新しい働き方の定着

時間外 在校等 時間	・時間外在校等時間が月45時間・年360時間を超える教職員をゼロ、特に月80時間を超える教職員のゼロを最優先とする。
ワーク ライフ バランス	・年次休暇の年間平均取得日数を16日以上とする。 ・年次休暇の年間取得日数が5日未満の教職員をゼロとする。 ・男性教職員の育児休業取得率を90%以上とする。 ・働きがいを感じているとの回答スコアを3.2以上(4.0点満点)とする。

1 長時間勤務・多忙化解消等の働きやすい環境づくりの取組の推進

勤務時間管理の徹底と勤務時間を意識した働き方の推進

- ・ 出退勤管理システム等を活用した適切な労務管理
 - ・ 退勤時刻を超える場合の申告の徹底及び上限時間を超えた場合の事後検証の実施
 - ・ 変形労働時間制等の勤務時間制度を活用した柔軟な働き方の推進
- ◎ 新たな出退勤管理システムの導入に向けた準備の実施
○ 終業から始業までの一定時間以上の継続した休息時間の確保

業務内容の不断の見直し

- ICT
生成AI
の活用**
- ・ 校務支援システム、デジタル採点システム等の活用
- ◎ 教職員の健康情報を一元管理するシステムの導入
・ 授業支援及び校務効率化に向けた生成AIの活用

- 業務分担
見直し**
- 教師以外でも参画可能な業務の洗い出しと、事務職員等との業務連携・分担の検討

部活動指導に係る負担軽減

- 部活動
改革**
- ・ 部活動の在り方の見直し
 - ・ 部活動ガイドラインの遵守徹底と部活動指導員等の配置
 - ・ 学校規模に合わせた部活動数の適正化の推進

学校を支える体制の整備

- チーム学校
の推進**
- ・ 業務アシスタントや部活動指導員等の外部人材の配置
 - ・ 学校を取り巻く問題に対する弁護士による支援体制の充実

2 ハラスメントとメンタル不調等の速やかな察知と解決

ハラスメント等の速やかな察知と解決

- ・ 全職員向けのハラスメント防止研修内容の充実
- ・ マニュアル等を活用した過剰な苦情や不当な要求への対応支援

メンタル不調等の速やかな察知と解決

- ・ ストレスチェック実施の徹底、相談窓口の活用促進、SNSでの情報発信
- 精神疾患による休職者対応への支援体制の強化

3 働きやすい環境づくりに向けたマネジメント力向上と組織体制の確立

管理職等のマネジメント力の向上

- ・ マネジメント能力やリーダーの資質向上に関する研修の実施

学校の指導・運営体制の強化・充実

- ・ 自ら学び続ける教職員の支援
- ・ 若手教員をサポートする体制の充実(初任者研修等の充実)

4 市町村教育委員会の取組に向けた支援・働きかけ

令和8年度の重点項目

- ・ 休日部活動の段階的な地域展開に向けた支援・働きかけ
- ・ 教職員の業務量の適切な管理の促進(県内市町村での100%実施)
(客観的手段による勤務時間の把握、退勤時刻を超える場合の申告の徹底)

県の財政的支援・県事業による支援

- チーム学校の推進のための人材配置支援(スクール・サポート・スタッフ等)
- 専門性の高い指導と教員の負担軽減のため小学校に専科指導教員を配置
- ・ 教職の魅力化促進となり手の確保(新規採用教員に対する奨学金返還支援等)

5 フォローアップ等関連する取組

- ・ 実施状況の定期的な進捗管理
- ◎ 計画の実施状況や時間外在校等時間の公表と総合教育会議への報告